# MAIL Order List 2025-#4 （2025 年 11 月 25 日作成）

www.tambourine-japan.com
email: song@tambourine-japan.com
email: tambour@ya2.so-net.ne.jp




（List 2025-#4 紙版使用表紙ジャケット）
JOHN KIRKPATRICK & SUE HARRIS WITH BENJI KIRKPATRICK:Live At The Wyeside(England)

**ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。**
**Ａ￥１９８０(税込み¥2178)　Ｂ￥２１８０(税込み¥2398)**
**Ｃ￥２３５０(税込み¥2585)　Ｄ￥２５８０(税込み¥2838)　Ｅ￥２８８０(税込み¥3168)**
**Ｘ￥４８０(税込み¥528)　Ｙ￥９８０(税込み¥1078)　Ｚ￥１４８０(税込み¥1628)**
**※発売年が 10 年以上前の商品は検品してお届けします。**

**（送料）**
**※ご注文枚数に関係なく《一律１８５円》郵送**
**ただしＬＰを含む場合は一律６６０円。**
**※代金引換送料（郵送）：590 円何枚でも）**
**ＬＰを含む場合は＋２５０円。**
注文方法サイト：　http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm

**【ご注文はできるだけ 12/10 までにお願いします】**
にてお願いします。
●ご注文の際、プライス又はプライス･コードをお書き願います。
●お問合せはメールにてお願いします。



（４ヶ月半振りの通販リスト）
*今年の夏は歴史小説を書くことを決め、タムボリンの仕事から長い間遠ざかっていました。小説は完成し、最後の頁でご案内しています。著者名は堀田はりい(Harry Hotta)です。
*正直なところ、今年になって仕入れの誤算（前回ひと推しの音盤が多かったにもかかわらず、ほとんどの商品が売れ残りました）が続いていることや超ユーロ･ポンド高(11/18 ついに史上初１ユーロ 180 円代)が止まらないことから、余生は新たな仕入れは止めて在庫処分で生きていこうと思っていました。実際、今回の通販リストはそのつもりで作り始めたのですが、John Kirkpatrick & Sue Harris の新譜をお客様情報で知るや、気持ちがゆらいで、仕入れ易いものを中心に数点仕入れました。ハープ関係は娘が主宰するハープ教室の生徒さんが買ってくれるので、とびっきりなのを二枚仕入れました。
*今回「発掘ＣＤ」を新たに数点リストアップしています。再発見を楽しみながらコメントしました。ジャケ写も掲載。
*前回の通販リストでお知らせした Chris Brain の日本ツアーですが、まさかのまさか、10/6 の名古屋でのライヴのあと体調不良で残り四箇所のライヴをキャンセルして帰国したそうです。

（分割払い）
*分割払いをご希望の方はお申し出下さい。最初のお支払いは請求額の半額になります。残り半額は 2 月 10 日まででＯＫです。

USA, Canada, UK & Ireland, England, Scotland, Ireland,

Europe 他, セール, あとがき, 堀田はりいの新刊,

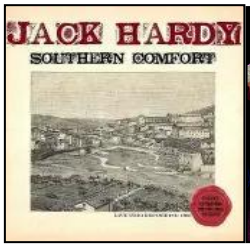
（ジャケ写掲載分が初入荷と初コメント商品です）

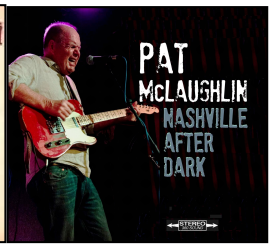
[CD,LP/USA{Singer & Songwriter]
*KASSI VALAZZA:From Newman Street(CD)　　C
*KASSI VALAZZA
:From Newman Street(LP)　　¥4780(税込み¥5258)
(注目の女性 SSW、Kassi Valazza の待望の三枚目。No Depression 誌は本作について「上品で控えめなフォーク調で、主に Joni Mitchell を想起させる」と表現。1970 年代の陰影のある良質の女性 SSW アルバムを聴く感触。名盤誕生。2025 作。Fluff And Gravy)

[LP/USA{Singer & Songwriter]
*MICHAEL HURLEY:Sweetkorn　　¥3580(税込み¥3938)
(2025 年 3 月 31 日にコンサートからの帰宅時に倒れ、翌日 4 月 1 日に急逝した Michael Hurley のラスト･アルバム。本作は 2002 年に CD でリリースされた"Sweetkorn"からの７曲をリメイクし、新曲１曲を加えて LP 化したもの。Michael Hurley のヴォーカルと彼が爪弾くギターやバンジョーの音色は彼の悠々自適な個性が正に悠々と表出されていて、これぞ Michael Hurley!といった趣き。ジャケットもディスクも文字が手書きなのも気分ホッコリ。2023 作。

Mississippi)
*GUY CLARK:Dublin Blues-30th Anniversary Edition
¥4780(税込み¥5258)
(1995 年発売"Dublin Blues"の 30 周年記念盤。未発表曲"Once More With Caution"{Emmylou Harris と Verlon Thompson がハーモニー・ヴォーカル}のボーナス・トラック付。1995 年/2025 作。Compass)

[CD/USA{Folk、Rock}系]

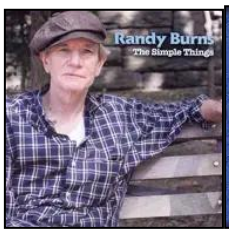




(Jack Hardy) (Pat McLaughlin)

*JACK HARDY:Southern Comfort D
(Jack Hardy{1947-2011}が 1988 年にイタリア南部のコゼンツァで行ったライヴ。アルバム・タイトルの"Southern Comfort"は、Jack がその地を「楽園の一角」と呼んだことによるもの。本作は Jack Hardy{ギター、マンドリン、ハーモニカ}、Todd Scheaffer{ギター、バッキング・ヴォーカル}、Brady Rymer{ベース、バッキング・ヴォーカル}のトリオ編成によるもの。「楽園」だからこそなのか、当時 Jack が創刊した Fast Folk Musical Magazine も軌道に乗り、ニューヨークのフォーク界のドンとして、かつフォーク・シンガー/SSW として現役バ リバリだった Jack Hardy のフォーク・シンガーとしての気迫は凄みを感じるほど。その上に Todd と Bymer の二人の演唱は Jack の渋く孤高感のある唄と一体化していて、ライヴだから当然と言えば当然だが、Jack のどのスタジオ録音アルバムよりも自然体で生きた音楽が詰まっている。1986 年作の"The Hunter"に参加していた Todd の伴奏ギターがこれまた素晴らしい。全 16 曲中、未発表曲が何と９曲も。これは彼がライヴ活動を重要視していたことの表れだろう。だからこそ多くの若きシンガーが彼の元に集まったのだろう。「40 年に及ぶツアーの中でも屈指の傑作。まさに彼のエネルギー、信念、そして超越的な芸術的表現の結晶」{レコード会社の紹介文より}。1988 年/2025 作。New Shot)
※1980 年代、Jack Hardy のレコードは本人から購入していました。注文はエアメールです。その際に多くの SSW を紹介してもらいました。そのお陰でニューヨーク周辺の若き SSW のレコードを数多く販売することが出来ました。
*JACK HARDY:Live On Stage In Italy C
(1993 年に Jack Hardy がイタリア公演を行ったときのライヴ。ライヴはバンド編成でメムバーは David Hamburger{ドブロ}, Jeff Hardy{ベース、ヴォーカル}, Wendy Beckerman{バッキング・ヴォーカル}。自身のギターに加え David のドブロの伴奏と Wendy のバッキング・ヴォーカル等による音楽は滋味豊かで彼の個性的な唄と一体化していて心和む。全 17 曲中８曲が未発表曲。1993 年/2023 作。New Shot)

*PAT McLAUGHLIN:Nashville After Dark D
(Chicago Sun-Times が「ダン・ペン以来、60 年代ソウルの表現とカントリーミュージックの感性をこれほど巧みに融合させた人物はいない」と評する Pat McLaughlin の 2018 年、ナッシュビルでのライヴで新譜。オオオ・・・まるで Van Morrison がガチンコでアメリカン・ロックしてるかのような真っ向勝負のソウルフルなロック。いやその濃さは Van Morrison 以上。バックを務めるエレキギターの Kenny Greenberg にベースギターの Michael Rhodes それにドラムスの Greg Morrow のツボを得たロックは 70 年代ロックのスピリットをばっちり受け継いでいて、Pat の熱いヴォーカルと一体となって、横綱級のアメリカン・ロックを体現している。圧巻！2018 年/2025 作。New Shot)



(Randy Burns)


(Gary P.Nunn)

(David Olney)

*RANDY BURNES:The Simple Things A
(発掘ＣＤ。"Evening Of The Magician"{1968 年作}や"Song For An Uncertain Lady"{1971 年作}等の SSW アルバムの名盤をリリースした Randy Burns の 2008 年作。タイトルから抱くイメージは忘れた方が良い。齢を重ねてもなお、彼の 1970 年代など過去の思い出に浸るタイプの{本人の言葉を借りれば、生き生きする}唄の数々{"Song For An Uncertain Lady"収録の"Autumn On Your Mind"の再演もある}は悩み多き青年時代と同じように神経質そうで情感豊か。声も昔のように小刻みにヴィブラートがかかって面影が有るし、不思議な気分に襲われる。クレジットは記されてないので、参加ミュージシャンについては不明だが、ギターの弾き語り風を中心にロック調まで幅広いく、どの唄も Randy Burns らしさに充ちている。全 12 曲。CD-R。自主制作)

*GARY P.NUNN:It's A Texas Thing Z
(発掘ＣＤ。Jerry Jeff Walker の"Lost Gonzo Band"出身のテキサスのシンガーの Gary P.Nunn の 2000 年作。オリジナルなテキサス・ミュージックの創作を旗印に制作された本作。テックスメックス、カントリー、カントリー・ロック、ホンキートンク、スウィッグ・ジャズ等の音楽をごった煮した音楽は紛れもなくテキサス・ミュージックで、その味わいは濃厚。そして音楽は陽気で朗らか。西海岸カントリー・ロック風なコーラスも最高。主役の Gary のヴォーカルが有頂天というかノリノリというかこれまたメチャ最高。Maines Brothers の Lloyd Maines のプロデュースの手腕もお見事！終始テキサス臭濃厚で極楽気分。昔は良いのが当たり前に多かった。2000 作。Campfire)

*DAVID OLNEY:Omar's Blues Z
(発掘ＣＤ。Emmylou Harris,Steve Earle,Linda Ronstadt,Steve Young 等のシンガーにカバー{共作含む}された SSW の中の SSW の David Olney の 2000 年作。交友のあった Townes Van Zandt は彼のことを「モーツァルト、ライトニン・ホプキンス、ボブ・ディランと並んで、私が今まで聴いたいた中で最高のソングライターの

一人」と評価。Mike Henderson{ｴﾚｷｷﾞﾀｰ}、Kieran Kane{ﾏﾝﾄﾞﾘﾝ}、Glenn Worf{ﾍﾞｰｽ}、Harry Stinton{ﾄﾞﾗﾑｽ}、Claudia Scott{ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｳﾞｫｰｶﾙ}他によるバンド・サウンドと彼の唄は幅広い音楽性を内包した渋くも大らかなルーツロック。David Olney は2020 年 1 月 18 日にフェスのステージ上で演奏中に心臓発作を起こし、71 歳で他界。Dead Rekoning)

*ERIC ANDERSEN
:Dance of Love and Death ¥3580(税込み¥3938)

(御年 82 歳の Eric Andersen の 20 数年振りの完全新作の二枚組。全17 曲。誰がこれほど素晴らしいアルバムを予想しただろうか。気力が充実している上に齢を重ねた分の深みのある唄は、彼のいかなるアルバムとも比較できないほど感動の度合いが大きい。2025 作。Y&T Music)

※本 CD をご注文の皆さまに本 CD のライナーノーツの和訳と本 CD 収録の"After This Life"の歌詞{英語}を差し上げます。

*CALVIN RUSSELL:Equal Love C

(テキサス・オースティン出身の SSW の Calvin Russell{1948-2011}の 1997 年イタリアでのライヴ。本作はバンド編成～Spencer Jarmon{ｷﾞﾀｰ、ﾊﾞｯｷﾝｸﾞ・ｳﾞｫｰｶﾙ}, Jim Panek{ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ}, Scott Garber{ﾍﾞｰｽ、ﾊﾞｯｷﾝｸﾞ・ｳﾞｫｰｶﾙ}, Jim Starboard{ﾄﾞﾗﾑｽ}～で、彼の持ち味である渋みのあるだみ声はバンドの南部寄りのルーツロックと一体化して、凄みがあって圧巻。T.V.Zandt 作の二曲を含む全 16 曲。1997 年/2025 作。New Shot)

*RB MORRIS:Live Shots From Jammin Hippie Jack's C

(テネシー州ノックスヴィル出身の詩人で SSW の RB Morris の 2010 年にテネシー州で開かれたアメリカン・ミュージック・フェスのライヴ。Bob Dylan や Leonard Cohen や Tom Waits 等からインスピレーションを得たという彼の音楽はフォーク、ブルース、ロックかつまたサイケデリックまで垣根なし。60 年代後半から 70 年代初頭のロックの雰囲気も。ビート詩人風の不思議な魅力の SSW だ。2013 年に出版された詩集「The Mockingbird Poems」はプッシュカー賞にノミネートされたという。2010 作/2025 作。New Shot)

*LARRY JON WILSON:Larry Jon Wilson C

(今年になって知った Larry Jon Wilson が 2009 年作。メキシコ湾を望むコンドミニアムの 15 階の部屋で、Larry Jon のギター弾き語りのみで 20 曲収録したという。これが滅茶苦茶素晴らしい。曲目は自作曲 6 曲に Bob Dylan, Paul Siebel, Willie Nelson, Mickey Newbury{2 曲}, Dave Loggins{2 曲}のナムバー等。ギターを爪弾き、低音のズンと来る声でうたう彼の唄は、リラックスしていて、枯淡の深い味わいがある。2009 作。Drag City)

*TONY JOE WHITE:The Complete Warner Bros.
Recordings ¥3980(税込み¥4268)

(二枚組。"Tony Joe White"{1971 年}と"The Train I'm On"{1972 年}と"Homemade Ice Cream{1973 年}の三枚＋シングル曲６曲の全 40 曲。2015 作。Real Gone Music)

*TOM OVANS:When The Dice Began To Roll C

(ボストンの労働者階級の地区出身で、2000 年前後に素晴らしい Bob Dylan スタイルの SSW アルバムを発表していた Tom Ovans の 1993 年イタリアでのライヴ。伴奏者は Doug Lancio{ギター}, Bob Kommersmith{ベース}, Lou Ann Bardash{ヴォーカル。Bob

Dylan 風のだみ声とアコギ、スライド･ギター、ハーモニカの伴奏と Lou Ann Bardash のソウルフルなハーモニー･ヴォーカルは、初期 Bob Dylan 風のプリミティヴというかフォーク･ブルース色の濃いフォークだが、その味わいは Dylan より濃密。ルーツ志向であり、かつ稀有な個性派 SSW だ。全 21 曲。2025 作。New Shot}

*JAMES TALLEY:Live From The Vaults C

(オクラホマのタルサ出身の SSW、James Talley の 2002 年イタリアでのライヴ。伴奏者は DavePomeroy{ベース},Mike Noble{エレキギター},Gregg Thomas{ドラムス}。Woody Guthrie 作６曲と J. Talley の自作曲５曲の全 11 曲。バンド編成だが、バンドは補助的伴奏で全編ギター弾き語りの味わい。Woody Guthrie/Bob Dylan 直系のプリミティヴなフォークやブルースに根付いた彼特有の滋味豊かでいぶし銀の唄は本ライヴで最高潮。2025 作。New Shot)

*JEFF BLACK:Bless My Soul / Live in Italy C

(1996 年イタリアでのギター弾き語りライヴ。ナッシュビルを拠点に活動する SSW の Jeff Black のアルバムを聴くのはおそらく彼の３枚目の"Tin Lily"{2005 年作}以来。ギターの弾き語りでうたう誠実な彼の唄を聴くと「昔は良い SSW がいたなぁ」とつくづく思ってしまう。彼の唄の真っ直ぐさと清々しさに心洗われる。「Jeff Black はレナード･コーエンのバリトン瞑想とタウンズ･ヴァン･ザントのルーツ方言を持つ吟遊詩人」{レコード会社の宣伝文より}。全 19 曲。2025 作。New Shot}

*LIV GREENE:Deep Feeler C

(「このアルバムは完全に自伝的です」と言うライヴ録音の本作。若き女性 SSW の Liv Greene は Emmylou Harris や Kate Wolf や Gillian Welch 等の米国の女性 SSW の伝統を受け継ぎ、見事に米国フォーク･スタイルの美しい SSW アルバムを創作。唄それぞれに心が宿っていて、彼女の情感が裏返るヴォーカルで自然に生み出されている。全てが美味。2024 作。Free Dirt)

*JASON ISBELL AND THE 400 UNIT
:Live From The Ryman.Vol.2 2890(税込み¥3179)

(二枚組。アラバマ出身の SSW の Jason Isbell と彼のバンドによるライヴ･アルバム。滅茶苦茶かっこいい西海岸ロック･スタイルのルーツ･ロック。2024 作。Thirty Tigers)

*VIV & RILEY:Imaginary People C

(Viv & Riley はマルチ楽器奏者で SSW の Vivian Leva と同じくマルチ楽器奏者でシンガーの Riley Calcagno の二人とも２０代半ば。二人は古いバラッドや伝統的な物語をリメイク等して、米国トラッド＆フォークを超えた独自の新感覚の音楽を活き活きと創作。2023 作。Free Dirt)

*SAMMY WALKER:Days I Left Behind C

(1986 年、Sammy Walker のイタリアでのギター弾き語りライヴ。全 19 曲。化粧なし、スッピンの Sammy Walker ソング。ギターをお伴にし、Sammy Walker 調でうたう彼の唄は優しく耳に心地よい。1986 年/2024 作。New Shot)

*GUTHRIE THOMAS:Live On Stage C

(1993 年、Guthrie Thomas のイタリアでの弾き語りのライヴ。全 11 曲。彼の誠実な唄が静寂の中、生き生きと収録されていて、ギター弾き語りフォーク･シンガー/SSW としての彼本来の魅力が 100%＋α味わえるライヴ･アルバム。1993 年/2023 作。New Shot)

*THE BURRITO BROTHERS:Together B
(嘘みたいにかっこよいカントリー･ロック。ヴォーカルもヴォーカル･ハーモニーもサウンドもあまりにも美味しすぎるワタクシ好みの常若のカントリー･ロック。2023 作。Store For Music)
*JEFFREY MARTIN:Thank God We Left The Garden C
(ポートランドの SSW の Jeffrey Martin の新作で四枚目。身震いするほどの素晴らしい SSW アルバム。2023 作。Loose Music)
*BOB MARTIN:Seabrook C
(2022 年 9 月 21 日に 80 歳で亡くなった Bob Martin のラスト･アルバム。11 曲。2008 年/2023 作。Worried Songs)
*KEVIN KINNEY:Down Out Law Z
(ロックバンド"Drivin N Cryin"の創設メムバーで､R.E.M や Golden Palominos との共演アルバムで知られるフォーク･ロック/ルーツロック系ミュージシャンの Kevin Kinney の SSW としてのソロ･アルバム。ほとんどアコギの弾き語りで繊細な中にアウトロー的野心をにじませている。1994 作。Mammoth)

[CD/CANADA{Trad}]



(Matthew Byrne)

*MATTHEW BYRNE:Horison Lines D
("Stealing Time"が大好評のニューファンドランドのトラッド･シンガーの Matthew Byrne の 2017 年作。イングランド屈指の演奏家との共演で英国で収録された"Stealing Time"も素晴らしかったが､それより８年も前に制作された本作も音楽はイングランドの質の良いトラッド風で､同様に素晴らしく､Matthew のぬくもりのあるシンギングと相まって､心に響くフォーク＆トラッド･アルバムとして結実している。Matthew 自身が爪弾くギターも英国トラッド調でキラリ光っている。サイン入り。2017 作。Matthew Burn)

[CD+DVD/BRITAIN(SSW 系)]

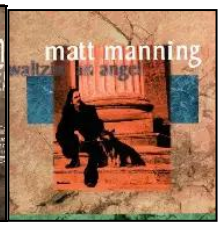
※DVD は国内プレイヤーで再生可能。
*AL STEWART:Live at Radio Bremen TV E
(1979 年の Radio Bremen の番組"Musikladen"での Al Stewart with Band～Peter White{ｷﾞﾀｰ},Robert Alpert{ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ}, Krysia Christianne{ﾊﾞｯｷﾝｸﾞ･ｳﾞｫｰｶﾙ､Harry Stinson{ﾄﾞﾗﾑｽ。Leon Russell,Bob Dylan,Neil Diamond 他のドラマー}～のライヴ。Al Stewart の甘みのあるヴォーカルと南部ロック風ロックとが一体化した圧巻のライヴ。Al Stewart の名曲"Year Of The Cat"では大喝采。耳と目でお楽しみ下さい。1979 年/2025 作。MIG)
*JOHN MARTYN:Live At Rockpalast 1978 E
(1978 年のドイツの音楽番組"Rockpalast"での John Martyn の白熱のギター弾き語りライヴ。シンガーとしてもギター奏者とし

ても最も脂がのっていた時代のライヴで徹頭徹尾エネルギッシュ。1989 年録音のボーナス･トラック"Look At That Girl"を含む全 12 曲。DVD は 1 時間 13 分。耳と目でお楽しみ下さい。1978 年/1989 年/2024 作。MIG)

[CD/BRITAIN&IRELAND(SSW 系)]



(Lee Fardon)



(Matt Manning)

*LEE FARDON:On The Up beat D
(1981 年から 2021 年までの 40 年間で 10 枚のアルバムをリリースしているという英国の SSW の Lee Fardon の新作。新作だが 2021 年に自主制作されたアルバムにボーナス曲を一曲加えてリマスターし、イタリアの New Shot から新たにリリース。初耳の SSW だが、昔から聴き親しんでる SSW のような気骨ある唄ながら渋めの心温まるヴォーカルとやや南部っぽくて小気味よいロックは体に美味しい。バックを担う主要メンバーは Steve Dow{ｴﾚｷｷﾞﾀｰ}, Steve Smith{ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ},Dick Cadbury{ﾍﾞｰｽ},Paul Beavis{ﾄﾞﾗﾑｽ},Hannah Robinson{ﾊｰﾓﾆｰ･ｳﾞｫｰｶﾙ}。"The Boat Trip"という曲は友人と一緒にオックスフォードシャーの運河を抜け、毎年恒例の Fairport の Cropredy Fes へ向かう冒険的な船旅を描いた曲。ノスタルジックなムードが心に響く。2021 年/2025 作。New Shot)

*MATT MANNING:Waltzin' An Angel A
(発掘ＣＤ。アイルランドの SSW の Matt Manning の 1996 年作で唯一のソロ･アルバム。このアルバムの存在自体を忘れていたが、改めて聴いて、彼の内省的で温厚かつ静謐な唄の数々に惚れ惚れ。Matt 自身に加え Jimmy Faulkner と Mick Hanley のギターの繊細な音色とアイリッシュな香りのするフォーク･サウンドは彼のヒューマンな唄にとけ込んでいて、唯一無二の心優しい SSW アルバムとして実を結んでいる。John B Spencer がプロデュースというのは意外。昔は当たり前に良いのが多かった。Round Tower Music)

*NIALL McCABE:Stranger D
(メイヨー沖のクレア島出身の SSW の Niall McCabe。本作は彼の二作目。アイルランド出身の SSW としては近年ではピカー。Paul Brady や Van Morrison のヴォーカルのニュアンスを保持した彼のヴォーカルはすこぶる魅力的な上に、島の生活を反映した唄の数々は、島の空気感とともに感情移入が豊かで、深く心に響く。加えてプロデューサーの Sean Óg Graham の、Niall のギター弾き語りにペダルスティールを織り交ぜながらフィドル、アコ、パイプ等と調和を図った音作りとトラッド、フォーク、ロック混在の音作りは見事で、Niall のシンガー＆ソングライターとしての類い稀な才能を見事な手腕で際立たせている。2025 年フォーク/SSW 系アルバムのベスト級。2025 作。Niall McCabe)

*CHRISTINA ALDEN & ALEX PATTERSON:Safe Travels D

(Christina{ヴォーカル、ギター、バンジョー、テナーギター} & Alex{ヴォーカル、フィドル、テナーギター、ヴィオラ}の若夫婦の全てを抱きしめたくなるような何とも愛おしい"ブリティッシュ・フォーク"なデュオ・アルバム。ジャケットにもブックレットにもディスクにも英国の自然豊かな地で家族三人で暮らすChristinaの手描きの心温まるイラスト。素朴だが芯のしっかりしたChristinaのヴォーカルと夫妻の魅惑のヴォーカル・ハーモニーは70年代ブリティッシュ・フォークの芳香を醸し出していて、心温まる歌詞とともに親近感を増す。1000枚限定盤のようで通し番号が手書きされている。2025作。Folk Cellar)

*BRINSLEY SCHWARZ:Live At Rockpalast 1975 D

(Nick Lowe,Brinsley Schwarz,Ian Gomm,Bob Andrews,Billy Rankinから成るBrinsley Schwarzの1975年ドイツの音楽番組"Rockpalast"でのライヴ。「解散の年のか。Brinsleyはもう良い」と思いながら耳を傾けたら、これがメチャ最高。「英国のザ・バンド」と言われたが、本作はまるで「英国のEggs Over Easy」。ライヴの勢いもあろうが、ヴォーカルも彼ら特有のアメリカン・ロックなブリンズレー・サウンドも最高に輝いていて、手に汗を握る。こんな一体感のある音楽を体現していた彼らが同じ年に解散するとは・・・。解散前の打ち上げ花火？全13曲。1975年/2025作。MIG)

*STEVE TISTON:Last Call B

(1971年のデビュー・アルバム"An Acoustic Confusion"から54年目の年に発表された御年75歳のSteve Tilstonの新作。ギター青年だった時代を思い起こさせるようなブルースやフォークの香りを放つ鮮やかなギター・プレイと力強く朗々たるヴォーカルはルーツ回帰的であると同時に齢を重ねた熟達感があって、聴き応え充分。ラスト・アルバムを匂わすタイトルとは縁遠い充実作。2025作。Talking Elephant)

*RALPH McTELL AND WIZZ JONES:About Time A

(2016作。Leola Music)

*WIZZ JONES,PETE BERRYMAN & SIMEON JONES
:Come What May(2017作。Riverboat) A

*THOM ASHWORTH:Head Canon A

(Folk Radioは「現代のMartin Carthy」と絶賛するイングランドのトラッド・シンガーのThom Ashworthの2019年作。トラッドの名曲"High Germany"で幕開けする本作は、Thomの揺るぎないシンギング、それも荒野に立ち、遙か彼方に向かってシンギングするかのような見事なシンギングに骨抜きにされる。渋いフィドルの伴奏であろうが、無伴奏であろうが、またフォークロック調であろうが縦横無尽。Thom Ashworth)

*IAIN MATTHEWS & AD VANDERVEEN
:Greetings From Grolloo C

(2003年3月1日、Iain MatthewsとオランダのSSWのAd Vanderveenの共演ライヴ。Iain Matthewsの音楽はSSWの原点に戻ったかのような、ギターの弾き語りによる素直な唄ばかり。Ric Sandersが二曲で飛び入り共演。2003年/2024作。Radz)

*JASON O'DRISCOLL:Dharma Z

(アイルランドのSSWのJason O'Driscollの2003年作。素直で緩やかな唄が心地よい。2003作。Jason O'Driscoll)

[CD/FAIRPORT&FRIENDS]

*FAIRPORT CONVENTION:A Live Recording - UK Tour October 2023 D
(2000 枚限定盤。Chris Leslie{収録時 68 歳),Dave Pegg{77 歳},Ric Sanders{71 歳},Simon Nicol{72 歳)から成る高齢者バンド Fairport のアコースティック・ライヴ。Crosby Stills & Nash を彷彿させるさわやかハーモニーといい、軽快な唄といい、ダンサブルな軽快サウンドといい、その若々しく爽やかな音楽に気分爽快。今になって初めて Fairport のドラムス抜き音楽の魅力を知った。Fairport は今が{も}青春！？裏ジャケの集合写真がまた楽しい。全 17 曲。2024 作。Matty Grooves)

*THE GPS:In 1981 There Was...Live In Concert B
(Ralph McTell,Richard Thompson,Dave Pegg,Dave Mattacks から成る GPS{ゲスト:Mike Piggott、アナウンス:Ashley Hutchings}と呼ばれたスーパー・グループの既発表アルバム "The GP's"{1991 年リリースの 1981 年のライヴ}収録曲に未発表音源曲６曲を加えた全 20 曲収録の発掘コンピレーション盤！音楽スタイルはアメリカ志向のブリティッシュ・フォーク・ロック～パブロック。皆さん活き活きした唄と演奏で、青春時代回帰のお楽しみ会的ライヴ・ミュージック。Ralph McTell と Dave Pegg は「GPS の音源はどこで見つけたんだ？素晴らしい音だ」と驚喜。P14 の詳細解説ブックレット。1981 年/2025 作。Talking Elephant)

*ASHLEY HUTCHINGS:Million Dollar Ash B
(Ashley Hutchings の新作は 80 歳記念に発売されたコンピレーション・アルバム。全 16 曲。ゲートフォールド・ジャケット仕様{簡易ジャケット}で裏ジャケットのクレジットには"Special Compilation･･･"と曲目のみ。情報があまりに少ないので、レコード会社に頼んで、音源データを送ってもらいました。その音源データをタムボリンで整理したものをお付けします。2025 作。Talking Elephant)

*ANNA RYDER:Pockets On Fire A
(Anna Ryder は感性豊かで個性的な女性 SSW。バックを務めるのは Fairport Convention{Dave Pegg,Gerry Conway,Simon Nicol,Ric Sanders,Chris Leslie,Gerry Conway}の面々他。Produced by Dave Pegg, Nark Tucker and Anna Ryder。1999 作。Woodworm)

*DAVID CARROLL AND FRIENDS:Bold Reynold B
(David Carroll と Fairport&Gryphon の選抜メムバーとによる David Carroll & Friends の一枚目。David Carroll の心優しい人間性と Fairport や Gryphon の音楽への愛が詰まった心豊かなフォーク・ロック。2023 作。Talking Elephant)

*SIMON NICOL & RIC SANDERS:Greetings From Grollo B
(2003 年 3 月 1 日オランダでのライヴ。Ric Sanders のフィドルの演奏が付いた Simon Nicol のギター弾き語りの曲を中心に Ric Sanders のフィドルと Ric Sanders のギターのジャンルを超えたデュエット曲を加えた構成。2003 年/2024 作。Radz)

*SDP:Vol Two B
(SDP{Sandy Denny Project}は Tradarr の Marion Fleetwood,Gemma Shirley,PJ Wright,Mark Stevens＋Sally Barker{再結

成 Fotheringay,Poozies}のスーパー･フォーク･ロック･バンド。本作は二枚目で､Sandy Denny ソングを Tradarr 流に新たな英国フォーク･ロックで創作したもの。Fairport,Fotheringay ファン必聴！2024 作。SDP)

*TRADARR:Cautionary Tales B

(Sandy Denny Project の Marion Fleetwood,Gemma Shirley,PJ Wright,Mark Stevens に Gregg Cave,Guy Fletcher,Brendan O'Neill の七人組フォーク･ロック･バンド"Tradarr"の 2015 年のデビュー･アルバム。彼らが体現するのは"Liege & Lief"をベースにした今の時代のオリジナルな英国フォーク･ロック。ゲスト: Dave Pegg,Chris Leslie,Rick Sanders,Jerry Donahue。Hedge Of Sound)

*CARLA FUCHS:Songbird B

(本作は"Songs Of Sandy Denny"の旗のもと､ドイツ人の SSW でマルチ演奏家の Carla Fuch がサンディーが残した未完成の曲をオリジナルに完成させたもの。伴奏はピアノやギターの弾き語りをベースにしたシンプルな音作りで､Carla Fuch の唄の世界を優しく包む。どの唄にも新たに優しい命が宿っている。2023 作。Talking Elephant)

[CD/ENGLAND]




(John & Sue)




("Facing The Music")

*JOHN KIRKPATRICK & SUE HARRIS
WITH BENJI KIRKPATRICK:Live At The Wyeside E

(何と John Kirkpatrick & Sue Harris の新譜！夫妻がデュオとして活動を停止したのが 1992 年。それから 32 年後､息子の Benji を加えて演奏活動を再開。本作は 2024 年 10 月 2 日に Wyeside Arts Centre で行ったライヴ･アルバム。聴くや感動の嵐。John のダンサブルなコンサーティーナとアコの演奏と Sue の軽やかなハンマーダルマーの演奏の何と若々しいこと！そして John の溌剌として悠々たるシンギングと Sue の溌剌として麗しいシンギングの何と素敵なこと！とりわけ John の大らかなシンギングとノリの良い演奏が素晴らしく､そのノリに Sue も響き合ってる印象。まさか夫妻によるこんな素敵なイングランド音楽を堪能出来るとは！息子の Benji の存在感は薄い。Benji が顔を出すのは The Band の名曲"The Moon Struck One"でヴォーカルを取る一曲のみ。観客の歓声が凄い。全 16 トラック{19 曲}夢の中気分。ジャケットの二人の姿が夫妻の"Facing The Music"{1980 年作}と同じというのも憎い演出。John Kirkpatrick のサイン入り。2025 作。Squeezer)

*JON BODEN & THE REMNANT KINGS:Parlour Ballads C

(Jon Boden の新作はビクトリア朝時代に全盛期を迎えたパーラー･ソング{バラッド}をタイトルしたアルバム。フォーク･ソン

グとしてピアノを奏で、やや感傷的に朗々とうたう。感動はジャンルを超える。Produced by Andy Bell。11 曲。2024 作。Hudson)

*JON BODEN:Songs From The Floodplain A

(デラックス・エディション限定盤。2009 作。Navigator)

*CHRIS MANNERS

:Bar Doors And Bang The Shutters Down C

(英国の SSW でギター奏者の Chris Manner の四枚目。1970 年代以降数多くのギター弾き語りのフォーク・シンガーが産声を上げ、20 世紀後半の英国フォーク・シーンを盛り上げてきたが、彼のシンギングとギターはその時代の英国フォークの味わいと魅力を律儀に保持していて、時代錯誤感に襲われる。独自のフォークを英国フォーク的に気高く美しく花開かせている。15 曲。ゲスト:Jon Loomes。2024 作。99YRCD04)

*STEVE TURNER:Curious Times C

(これぞイングランドのトラッドの真骨頂！と豪語したくなるヴェテラン・トラッド・シンガーでコンサーティーナ奏者 Steve Turner の新作。通算９枚目。自身が奏でるコンサーティーナをお伴にゆるくコブシの利いた何とも味わい深いシンギングは、齢を重ねた心あるシンガーのみが体得できる味わいだろう。w.Martin Carty,Moira Craig,Rob van Sante,Liz Turner, Allan Rose,Rikki Gerardy。全 13 曲。2023 作。Tradition Bearers)

*THE ROSIE HOOD BAND:A Seed Of Gold C

(偽りの愛の物語"The Swallow"で幕開けする Rosie Hood Band～Rosie Hood{ヴォーカル、ギター、ウクレレ、フィドル}、Nicola Beazley{フィドル、ヴォーカル}、Rosie Butler-Hall{フィドル、ヴォーカル}、Robyn Wallace{メロ-ディオン、パーカッション、ヴォーカル}～の新作はイングランドの美しき女性トラッド・シンガー・アルバムの魅力に充ち満ちていて、心奪われる。2023 作。Little Red)

*NICK WYKE AND BECKI DRISCOLL:A Handful Of Sky A

(男女の二人組の Nick & Becki による 2014 年作。双方がイングランドのトラッド・シンガーとして魅力的なシンギングを聴かせる上に二人がデュオで奏でるダンサブルなフィドルが新鮮で快い。またヴィオラに持ち替えれば重厚感が生み出される。イングランドのトラッドの気品と香りに満ちた英国トラッドの快作。WildGoose)

[CD/SCOTLAND]




(Dick Gaughan)




(Karen Marshalsay)

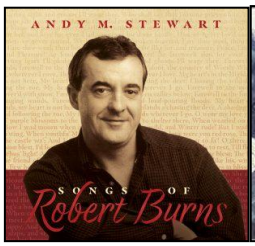
*DICK GAUGHAN:Live At The BBC 1972 - 79 B

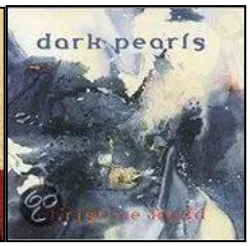
(Dick Gaughan の 1970 年代に BBC で録音した音源からの選りすぐりの 10 曲{Boys Of The Lough が２曲、Five Hand Reel が４曲そしてソロが４曲}がリマスター及びピッチ補正でめでたくＣＤリリースされた。グループ時代を含みはするが、Boys での２曲の内１曲

はソロそしてFiveでの４曲もソロ！これぞトラッド･ファンが求めるDick Gaughan節！よくもこれほどまでにギターを爪弾きうたう彼の気迫ある孤高のシンギングをリアルに再生できたものだと感心してしまった。そしてまるでDick Gaughanが目の前でうたっているかのような生音感のある音楽は、曲のダブりは二曲のみではあるけれど、名盤"No More Forever"{1972年作}のライヴ盤的レベルを達成している。ラスト曲の"MacCrimmon's Lament"{"No More Forever"のアルバム･タイトルはこの曲の歌詞から採られている}のみ無伴奏アカペラ。本作のラストを飾るのに相応しい曲だ。解説は20歳のとき"No More Forever"を聴いて打ちのめされたというMartin Simpson。Five Hand Reelの横でエレキギターを弾く格好をしているMartinの得意げな顔がほほえましい。ジャケットの写真はデビュー時のプロモーション用写真とか。2025作。Talking Elephant)

*KAREN MARSHALSAY:Eadarainn a' Chruit E

(スコットランドのハープ奏者のKaren Marshalsayの６年振りのアルバムで二作目。本作で彼女はレバーハープ、金属弦小型ハープのクラルサッハそしてルネサンスとバロック時代のブレイハープの３種類のスコットランドのハープを演奏。彼女はスコットランドの伝統音楽{特にバグパイプ音楽}とハープ音楽の探究心旺盛で、馬のいななきを意味するブレイ{ノイズ}を発生するブレイハープとクラルサッハの古風でスコットランドの香り高き響きが素晴らしく、一曲一曲の感動の度合いが深い。ソロのみならず、彼女のハープの師Alison Kinnairdとのブレイハープの共演のほかKarenとトリオで活動する元Boys Of The LoughのCathal McConnell{ヴォーカル､フィドル}とフィドルチャンピオンぼKathryn Nicholl{ヴィオラ}やゲール語シンガーでパイプ奏者のAllan MacDonaldがゲスト参加。二曲のみだが、Cathal McConnell翁の枯淡のシンギングも聴き物。全18トラックの全26曲。2025作。Cramasie






(Andy M.Stewart) (Christine Kydd)

*ANDY M. STEWART:Songs of Robert Burns D

(ドイツのWundertüteから1989年にリリースされたAndy M.Stewart{1952-2015}の"Songs Of Robert Burns"がAndyの息子のDonaldによってリマスター、新パッケージ、曲目解説、歌詞、新解説付き新ブックレット{Andyとのツーショット。Donaldがおちびちゃんだった頃の 写真が可愛らしい}で再発された。伴奏者はMánus LunnyとDonald ShawとCharlie McKerronのCapercaillieのお三方。Andyのシンギングは途方もなく素晴らしい上に、伴奏者三名のブズーキ、ギター、アコ、フィドル演奏と音の粒立ちが良く感動的。Andyの家族の手によらずとも、これほど魂を揺さぶる音盤は日の目を見て当然。全11曲感動の嵐。全トラッド･ファンの宝物。1989年/2025作。BCD625)

*ANDY M.STEWART:Donegal Rain(1997 作。Green Linnet) A
*CHRISTINE KYDD:Dark Pearls A
(発掘ＣＤ。スコットランド発女性トラッド･アルバムの名盤。自身が爪弾くギターと終始ハーモニー･ヴォーカルで寄り添うLorraine Jordan が奏でるブズーキの伴奏で毅然とまた軽やかにシンギングするChristine のシンギングの何と魅力的で素晴らしいこと！Lorrane との無伴奏デュエットを間に挟みながらの曲編成だが、この組合わせが実に見事で双方のスタイルによるスコットランドのトラッド{バラッドと伝統歌}のピュアな味わいと魅力が味わえるアルバムになっている。選曲はJeannie Robertson やLiggie Higgings やSheila Stewart 等のほか主に先輩トラッド･シンガーから学んだバラッドと伝統歌。聴き逃していたトラッド･ファン必聴。「スコットランド･フォーク･ミュージックの永遠の宝」{Living Tradition}。1999 作。Culburnie)
※検品してお送りします
*FIONA SOE PAING:Sand,Silt,Flint C
(アヴァン･フォーク{avant-folk}の実験家で歌手と自ら呼ぶFiona の本作はスコットランドのバラッドや古代の物語を題材にして、自己流に創作した夢想的音楽。彼女のヴォーカルは夢うつつな表情で、電子音とチェロ、クラルサッハ、フィドル、ギター、クラリネット、ドラムスによるスコットランドの音楽を融合した音楽はとてもユニークで、別世界に誘われる気分。ジャケットには唄の舞台になった地がスコットランド北東部の地図で指し示されている。2022 年/2024 作。CSFSPCD2024401)
*ATOMAIG PISEAG:Direach Purr-fect C
(Atomaig Piseag は女性合唱団として10 本の指では数え切れないほどの受賞歴を誇る実力派の女性ゲール語合唱団。彼女たちはスコットランド･ゲール語の伝統歌の素朴な美しさと味わいを保ちつつ、伝統歌を現代的に解釈し、様々な合唱スタイルを考案し、革新的な合唱を創り出している。カラフルで美しくかつ楽しく、爽やかで力強くもある。全12 曲。2024 作。Sradag Music)
*UP IN THE AIR:Moonshine Z
(Up In The Air は、Old Blind Dogs の創設メムバーの二人のJonny Hardie{ﾌｨﾄﾞﾙ、ｷﾞﾀｰ、ｳﾞｫｰｶﾙ}とDavy Cattanach{ﾊﾟｰｶｯｼｮﾝ、ｷﾞﾀｰ、ｳﾞｫｰｶﾙ}にIron Horse のGavin Marwick{ﾌｨﾄﾞﾙ}のスーパ･トリオによる2012 年のアルバム。スコティッシュ臭の強いDave のシンギングが素晴らしく、全体としてOld Blind Dogs の核の音楽的な印象で、琴線に触れる音楽を自在に創作している。
Up In The Air)
*COAST:The Turning Stone Z
(Runrig クラスのフォークロック･バンド。Paul Eastham のヴォーカルも抜群。ゲスト:Duncan Chisholm。2011 作。Ruabhal)

[CD/SCOTLAND,NOVA SCOTIA]
*MAIRI MORRISON & ALASDAIR ROBERTS
:Remembered In Exile C
(副題"Songs And Ballads From Nova Scotia"。本作はスコットランドの劇作家でゲール語シンガーのMairi Roberts とスコットランドを代表するトラッド･シンガーのAlasdair Roberts の二人による13 年振りの二作目。二人はカナダのノヴァスコシア

に渡り、民俗学者の Helen Creighton{1899-1989}がカナダで収集したスコットランドにルーツを持つ伝統歌集をカナダのミュージシャンと収録。ゲール語と英語混在で、Mairi の清々しく温かみのあるシンギングと Alasdair の飄々としたシンギングのそれぞれのシンギングとデュエットは、そよ吹く風のように心地よく、軽やかなフォーク・ロック・サウンドを伴って躍動的で、歴史絵巻の世界に誘われる気分になる。解説付。2025 作。Drag City)

[CD/IRELAND 系]

デジパック・タイプを含め、元々開封されているものが多数あります。





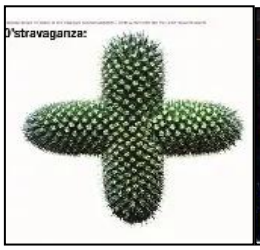

(Maighread & Tríona)　(Emer Ní Scolaí)

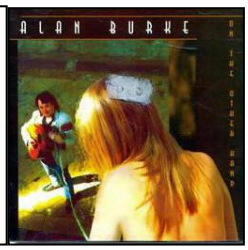
*MAIGHREAD & TRIONA NI DHOMHNAILL:Seo Muid　E

(11/29 頃入荷予定。Skara Brae から 54 年、Maighread & Tríona Ní Dhomhnaill 姉妹による新作！コンサート会場等でのみの販売で、交渉のすえ目出度く入荷決定！ネットで聴いて、もううっとり。初心回帰というか伝承歌を姉妹でうたうのを楽しむかのよう。2025 年アイリッシュのベスト・アルバム級。2025 作。Maighread & Tríona Ní Dhomhnaill)

*EMER NI SCOLAI:Aiséirí　D

(ハープとハープスローエア部門で８度 All Ireland チャンピオンでその他の数コンクールでも優勝というダブリン出身の若きアイリッシュハープ奏者 Emer Ní Scolaíのフレッシュなデビュー・アルバム。録音は一発録りライヴ。「Gráinne Hambly と Laoise Kelly のような巨匠達からの影響と愛する人達に捧げる気持ちがアルバム全体に織り込まれている」という本作は、オカロラン曲、スローエアー曲、様々なダンス曲そして自作曲等をハイレベルな演奏でアイリッシュハープ音楽の超模範的な演奏を展開する。スローな曲であろうがリズミカルな曲であろうが、アイリッシュハープ演奏の基礎をたたき込んだ上での溌剌とした演奏力と表現力は非の打ち所がない。そして一曲一曲に深い愛情が貫かれている。何と清々しいアイリッシュハープ音楽！Gráinne Hambly がネットで絶賛。二曲フルートとのデュエット曲を含む全 12 トラック{20 曲}。2025 作。Emer Ní Scolaí)






(O'stravaganza)　(Alan Burke)

*O'STRAVAGANZA:O'stravaganza Z
（発掘ＣＤ。Nollaig Casey,Emer Mayok,Ronan Le Bars,Robert Harris,Brenda Mayock 等のアイリッシュ･ミュージシャンと Myrdhin,Isobelle Oliver のフランスのケルティック･ハープ奏者がバロック楽団と共演したバロック風アイリッシュ。これが結構面白い。リバーダンスの音楽のような醍醐味。Produced by Hughes De Courson & Youenn Le Berre。2001 作。EMI）
*ALAN BURKE:On The Other Hand Z
（発掘ＣＤ。リリース時ダブリンを拠点に活動していたフォーク＆トラッド･シンガーでギター奏者の Alan Burke の 1997 年作。アイルランドのトラッド曲を中心に Richard Thompsoa や Tim Woods それに自作曲を含む本作は Alan の伸びやかなヴォーカルと Alan の英国トラッド調のギターが魅力的で、かつ英国トラッドとアイリッシュ･トラッドが自然にブレンドされた音楽が魅力的。アイリッシュ･ファンのみならず、ブリティッシュ･フォーク･ファンにもお薦め。w.Dezi Donnelly{フィドル},Francis McIlduff{イリアンパイプス、ローホイッスル},John Harris{エレキギター}。Gurug）
*AN CHEAD CHIUIN EILE:Cá'il an Bheirt? E
（カウンティ･ミースのゲール語地域出身の Etain & Maire 姉妹のデビュー･アルバム。姉妹の大叔父は偉大なシャン･ノース･シンガーの Darach Ó Catháin。Darach は姉妹にとって大きな誇りで、大叔父のシンギングは大きなインスピレーションの一つと言う。本作はガチガチのトラッド･アルバムではない。本作で Lumiere のヴァージョンを採り上げているが、いわば Lumiere 風の女性デュエットが美しい優美なアイリッシュ･シンギング･アルバム。失恋や離別など悲哀の伝統歌を多く含むのに加えて、Nathan Grant{ｷﾞﾀｰ},Cathal Ó Curráin{ﾌﾞｽﾞｰｷ},Jack Warnock{ｷﾞﾀｰ}による二人に寄り添う伴奏が二人の美しいソロ＆ハーモニーの優美さを高めている。2023 作。An Chead Ghluin Eile）
*EIMEAR COUGHLAN & FRANCIS CUNNINGHAM
:The Caves Of Kiltanon E
（クレア出身のハープ奏者の Eimear Coughlan と同じくクレア出身のコンサーティーナ奏者の Francis Cunningham の若き伝統音楽家による夫妻名義のデビュー･アルバム。Eimear の祖父は Tulla Ceili Band の創設メンバーでアイルランドを代表する名フィドル奏者の Paddy Canny。アイリッシュ･ハープとコンサーティーナのソロ＆デュエットの音楽として、かつクレア発アイリッシュ･ミュージックとして感動的。夫妻ともにそれぞれの楽器部門のオール･アイルランド･チャンピオンだが、演奏は気分がホッコリするほどクレア･スタイルで暖かい。2025 作。CCO001）
*MICK MULVEY & SHANE MEEHAN:The Missing Guest E
（フルートとフィドルの演奏において、北コナハトの名手達の演奏を彷彿させるフルートとフィドルによる最高レベルのアイリッシュ･ミュージック。ゲスト:John Blake,Joe Kennedy.Matt Mulvey。10 年以上の共演経験を経て創作された至福の全 15 トラック{42 曲}。2025 作。(Coolathma CD3）
※"The Missing Guest"はそれぞれの楽器を熟知したミュージシャンによる素晴らしい演奏が収録されています。このアルバムは

美しく繊細な伝統音楽への共通の愛情。そしてデュエットとしての心地よさと互いへの敬意を如実に表しています。数々の喜びに満ちたソロは音楽に精通したこの二人の技量をさらに際立たせています。(Karen Ryan)

*MICHELLE MULCAHY:Lady On The Island E
(再入荷。2022 作。Michelle Mulcahy)

*LAOISE KELLY:Ceis(再入荷。2010 作。Laoise Kelly) E

*KATHLEEN LOUGHNANE:Harp To Heart E
(再入荷。2005 年作。Reiskmore Music)

*DAIRE BRACKEN & LORCAN MacMATHUNA:Preab Meadar B
(ゲール語シンガーの Lorcan MacMathuna と Slide の創設メムバーで元 Danu のフィドラーの Daire Bracken のデュオ･アルバム。本作は 600 年から 1600 年のゲール語の詩を源泉とした自作曲とその時代の詩に曲を付けたもので、Lorcan シンギングやリルティングは過去に生きた人びとの魂の歌声にも聞こえる。また相方 Daire の演奏は唄の伴奏を超えた即興的演奏で、響き合っていて、感動的。2014 作。DBLM01)

*CUAS:Cuas C
(Cuas は Seamus Begley の娘の Méabh Ní Bheaglaoich{ヴォーカル、ｱｺ}, Nicole Ní Dhubhshláine{ｺﾝｻｰﾃｨｰﾅ、ﾌﾙｰﾄ}, Niamh Varian-Barry {ヴォーカル、ﾌｨﾄﾞﾙ他}, Kyle Macaulay{ｷﾞﾀｰ、ﾌﾞｽﾞｰｷｺ}から成るアイリッシュ･グループ。アイリッシュなライヴ感に充ち満ちていて、大盛り上がり。Méabh のゲーリック･シンギングの二曲と Méabh & Niamh のデュエットの一曲の計三曲はアイリッシュ･トラッド･シンギングは清楚なシンギング
で感動的。2024 作。Cuas)

*ELIXIR:Elixir C
(録音は 1983 年 10 月と 1984 年３月。本作はブルターニュのシンガーでティンホイッスル、フルート奏者の Pol Huellou の呼びかけで集まったミュージシャンによるセッション･アルバム。集ったのは Liam Weldon{ヴォーカル}, Sean Howley{ブズーキ}, Brian O'Donoghue{ギター}, David Hopi Hopkins{バウロン}の四名。呼びかけ人の Pol Huellou のティンホイッスルの演奏が素晴らしく、ブズーキ、ギター、バウロンの演奏も誘発されるように見事な演奏を繰り広げる。Liam Weldon の貴重シンギング二曲収録。1984 年/2021 作。Goasco Records)

*TEADA:Coisceim Coiligh B
(ゲストに Séamus Begley{4 曲参加]を迎えて制作された Teada の結成 21 周年を祝う 2022 年作。フィドル、ボタン･アコーディオン、フルート、ギター、ブズーキ、バウロン、キーボードによるアイリッシュは音楽が多彩でスローテンポからミディアムテンポそしてアップテンポまで縦横無尽。その職人芸は驚くばかり。さらに生前最後の録音記録と思われる Séamus Begley の柔和なゲーリック･シンギングが涙を誘う。最高のアイリッシュ！Gael Linn)

*THE LARK ON THE STRAND:The Lark On The Strand C
(本作は 2000 年一月に Sesoaimhín Ní Bheaglaíoch{Macalla/ヴォーカル}, Charlie Piggott{De Danann/ｱｺ}, Peter Browne{1691, Bothy Band [Paddy Keenan の代役] /ｲﾘｱﾝﾊﾟｲﾌﾟｽ}, Gerry Harrington{ﾌｨﾄﾞﾙ}が"The Lark On The Strand"の名でアイルランド･ツアーをしたときのライヴ･アルバム。アイリッシュ･ミ

ュージック界のプロフェッショナル三人によるアイリッシュは、様々なタイプのダンス曲をあの手この手の名演奏で舌鼓を打たせる。加えて Sesoaimhín の滋味豊かなゲール語のシンギング付。全 34 曲！2000 年/2022 作。LOTS001CD)

*LILLEBJORG NILSEN ・ ANDY IRVINE:Live In Telemark C
(本作は 1994 年にノルウェーのフォーク･フェスでの Andy Irvine とノルウェーの SSW の Lillebjorn Nilsen の共演ライヴ。2020 年作。Heilo)

*PADDY KEENAN･TOMMY O'SULLIVAN
:The Long Grazing Acre Z
(Bothy Band の創設メムバーでにイリアンパイプ奏者の Paddy Keenan とギリスト兼シンガーの Tommy OSullivan のコラボ･アルバム。2001 作。Hot Conya)

*TOMMIE CUNNIFFE:Unbuttoned Z
(ロスカモン出身のアコ奏者の 2007 年作。クレアとゴールウェイ曲が多いが､飛び跳ねるリズムの一音一音が絶え間のないメロディーとなって気持ちよく滑空する。職人芸。Tommiecunniffe)

*3 TRIUR:Omos Y
(Peadar O Riada{ｺﾝｻｰﾃｨｰﾅ},Caoimhin O Raghallaigh{ﾊﾙﾃﾞｨﾝｸﾞﾌｪｰﾚ},Martin Hayes{ﾌｨﾄﾞﾙ}のスーパー･トリオ"3 Triur"の三枚目。全 14 トラック。2013 作。Peadar O Riada)

[CD/LAPLAND]

*ASSU:Luoteniegut C
(サーミ人でヨイク･シンガーの Ulla Pirttijärvi がヴォーカルの Áššu の６年振りの新作。本作収録の曲は動物､自然､冷たい風､友人や親戚の思い出など Ulla にとって夢のような曲だという。呪術的な響きのヨイクに様々な物語がうたい込まれているのだが､ヴォーカルに磨きがかかっているうえに Kenneth Ekornes のパーカッションと Olav Torget の各種ギターとンゴニによる土俗的な伴奏を伴って､インパクトの強いヨイクを創作している。2025 作。Nordic Notes)

*ULLA PIRTTIJARVI:Ruossa Eanan C
(サーミ人シンガーの Ulla Pirttijärvi の 1997 年リリースのデビュー作。収録時 26 歳。デビュー時より見事なヨイク節。Atrium))

[CD/NORWAY,SWEDEN,DENMARK]

*VIIK:Sagt C
(Viik はノルウェーのカリスマ的なシンガーの Elisabeth Vik 嬢率いるノルウェー､スウェーデン､デンマーク出身メンバーによる汎ノルディック･フォーク･グループ。妖精の歌声の Elisabeth の美麗で軽やかなシンギングは正に白眉な上にシスター{中世のシターン系弦楽器}､フィドル､コントラバス､パーカッション､ハーモニカ等によるバンド･サウンドはある種ファンタスティックなユーロ･トラッド＆フォーク･ロックを創作。中世の物語の世界やおとぎ話の世界へと誘う。2024 作。Nordic Notes)

[CD/FINLAND]

*NOUSE LUONTO "Lauluja Monimuotoisuudesta" C
(本作のテーマは｢北欧の生物多様性の歌｣。その旗印のものに集

ったフィンランドのフォーク･シンガー/ミュージシャンは、Frigg,Antti Paalanen,Kasvu,Maria Kalaniemi,Piia Kleemora,Disiree Saarela,Akkajee Ánnámarét & Maja Kauhanen,Anette Akerlund,Akkajee,Kimmo Pohjonen,Maria Kalaniemi & Maja Kauhanen,Yhteiskapple{以上演奏者順)。フィンランドのトラッドの感動のアルバム。2024 作。Nordic Notes)

*EMMI KUITTINEN:Surun Synty C

(フィンランドのカレリア地方とイングリア地方の歌唱スタイルを専門とするトラッド･シンガーの Emmi Kuittinen の 2023 年作。フィンランド音楽賞の"Emma Gaala"で年間最優秀フォーク･アルバムにノミネートされたという本作。本作｢悲しみの誕生｣はフィンランドの民族楽器の素朴な響きと Emmi の悲哀感のあるシンギングは、本作のタイトルそのままの印象で、古き時代のフィンランドの家庭にタイムスリップしたかのよう。Nordic Notes)

*SALAMAKENNEL:IV C

(1989 年、1990 年、1992 年に枚のアルバムをリリースした後にバンド活動を停止していた Salamakennel～Arto Järvelä{ﾌｨﾄﾞﾙ､ﾏﾝﾄﾞﾘﾝ､ﾆｯｹﾙﾊﾙﾊﾟ}､Hannu Saha{ｶﾝﾃﾚ},Kimmo Känsälä{ﾍﾞｰｽ}､新加入の Antti Kettunen{ｱｺｷﾞ､ｴﾚｷ､ﾂｨﾀｰ､ﾍﾞｰｽ}の 30 数年振りの新作。メインは Arto Järvelä。Arto はフィンランドの伝統的フィドル音楽を愛しむように演奏し、共演メムバーが響演するスタイルで、カンテレの大家 Hannu Saha のカンテレと Antti Kettunen のツィターが爽やかさを添えている。ゲスト:JPP,Jonna Tervomaa{ｳﾞｫｰｶﾙ}。2024 作。Bafe's Factory)

[CD/SWEDEN]

*LJUS OCH LYKTA:Ljus Och lykta A

(女性三名と男性一名の四人組トラッド･バンド"Ljus Och lykta"の爽快デビュー･アルバム。曲目のほとんどはスウェーデン舞台芸術庁のアーカイブのコレクションで見つけ出したトラッド曲で、彼らは若々しく自由闊達なソロ･シンギング＆ポリフォニックなハーモニーでスウェーデンの伝統歌を再現する。、特にフィドルのスウェーデンのトラッドの香り立つ演奏がトラッド色を高めている。フレッシュな北欧トラッド。2022 作。Caprice)

*HOVEN DROVEN:Trad Z

(Trad と題された Hoven Droven の 2021 年作。1989 年結成以来、30 年以上にわたってスウェーデン･スタイルのフォーク･ロックを果敢に創作してきた彼らが初心の帰りつつ、腕を上げた演奏力と表現力で取り組んだ 30 周年記念アルバム的性格の快作。Heilo)

[CD/NORWAY]

*TRITULEN:Tritulen B

(Tritulen は Ebba Jacobsson がヴォーカルの女性 2 名と男性 1 名のトラッド･グループ。ノルウェー西海岸の伝統曲を中心にした選曲で、Ebba のシンギングもフィドル、ギター、アコの演奏も極北トラッドの薫りを発するが、ストイックな極北性ではなく、穏やかで牧歌的な極北性。Ebba のシンギングは新緑の森の中を口ずさみ散歩するような爽快気分のシンギング。2012 作。Etnisk Musikklubb)

*JUNI HABEL:Carvings C
(ブリティッシュ･フォーク･タイプのノルウェーの女性 SSW、June Habel の 2023 年作。ほとんどの曲を祖母の家で録音をしたという本作は、さざなみのようなギターが特徴的なギターの弾き語りで、心を鎮め密やかにうたう彼女の唄の世界にじわじわっと引き込まれる。極上の 70 年代ブリティッシュ･フォーク風アルバム。唄は英語。Basin Rock)

[CD/LITHUANIA,ESTONIA,LATVIA]
*THE BALTIC SISTERS:Varav/Varti/Vartai C
(Baltic Sisters はリトアニア、エストニア、ラトビアの４人の女性歌手～Marion Selgal{ｴｽﾄﾆｱ}、Laurita Peleniūtė{ﾘﾄｱﾆｱ}、Vineta Romāne{ﾗﾄﾋﾞｱ}、Liene Skrebinska{ﾗﾄﾋﾞｱ}～からなる女性ヴォーカル･グループ。彼女等は口琴の伴奏やコクレの伴奏で、あるいは無伴奏でバルト三国の伝統歌を四色のシンギングでカラフルなヴォーカル･ミュージックを創作する。全 14 曲。2024 作。CPL Music)

[CD/ESTONIA]
*6HUNESSEQ:Ma Olen Maa Peal V66ras C
(6hunesseq は女性四人エストニアの女性四人組トラッド･グループ。結成は 2021 年。ヴォーカルは Marion Selgall と Greta Liisa Grunberg の二姫。北欧系トラッド･アルバムとして秀逸。2024 作。Nordic Notes)

[CD/NETHERLANDS]
*CHIMERA:Obstakel D
(オランダの Stoof から発売されていたオランダの 5 人組トラッド･グループ"Chimera"の 1981 年作の二枚目の CD 盤。ユーロ･トラッドの名盤。1981 年/2024 作。Pan)

[CD/MORDOVIA]
*MEREMA:Eryamon' Koytneva C
(五姫と二太郎の七人組エレクトリック･トラッド･バンド"Merema"の 2022 年作。これは強烈。メムバー達はモルドヴィアの村々で現地調査を行い、モルドヴィアの伝統的民謡を収集し研究。失われつつある民謡を女性シンガー達による伝統的な節回しと呪術的な響きのポリフォニー･コーラスで甦らす。唄も凄みがあるが、馴染みのない伝統楽器と家庭用品＋電気楽器による土俗性豊かで斬新な演奏も圧巻。歌詞英訳付き。CPL-Music)

[CD/HUNGARY]
*KOLINDA:Incantation D
(Kolinda の 1997 年作。Pan)
*KOLINDA:Forgotten Gods D
(Kolinda の 2000 年作。女性シンガーの Kriszta Kováts を迎え、汎東欧～西アジア的悠久感のある Kolinda 流異種交配エキゾティック･ミュージックを創作。Pan)
*MESZECSINKA:Allj Bele A Melybe C
(北欧の魔性的トラッドを彷彿させるフォーク･ロック･グルー

プ"Meszecsinka の 2019 年作。彼らの深淵な野性味と無国籍でエキゾティックな音楽は天下一品。加えて聖と俗を併せ持つ Oláh Annamaria 嬢のエキゾティックなヴォーカルも天下一品。孤高のハンガリー発フォーク･ロック。CPL-Music)

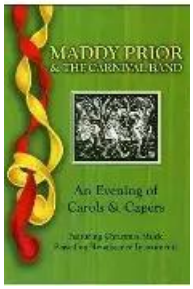
☆　☆　☆　☆

その他色々

☆　☆　☆　☆

※検品してお送りします。

**(DVD/CHRISTMAS) PAL**




(Maddy Prior & The Carnival Band)

*MADDY PRIOR　THE CARNIVAL BAND
　:An Evening Of Carols & Capers　Z
(Maddy Prior & The Carnival Band が 2003 年に行ったクリスマスツアーのライヴ。ライヴ 33 曲 97 分と Extra Feature21 分 30 秒。2005 作。Park)

**(CD/CHRISTMAS,WINTER)**

*JACKIE OATES AND JOHN SPIERS:A Midwinter's Night C
(クリスマス期の伝統的な祝祭の歌と曲を集めたクリスマス･アルバム。2024 作。Needle Pin)

*CHRISTMAS JUG BAND:Rhythm On The Roof　A
(1997 作。Globe

*COLD BLOW THESE WINTER WINDS　A
("A Celtic Celebration Of Christmas - Recorded Live At The Queen's Hall,Edinburgh,Scotland"。Karine Polwart, Eliza Carthy,Mary MacMaster,Aaron Jones,Carrina Polwat, Rory Campbell,Marianne Campbell 他。2004 作作。Green Linnet)

*OWL SERVICE:1 The Burn Comes Down　A
(2010 作。Owl Service)

*MAGPIE LANE
　:Knock At The Knocker,Ring At The Bell　Y
("Carols,Songs & Tunes For Christmas Season"。2006 作。Beautiful Jo)

*ALBION CHRISTMAS BAND:One For The Road　Y
(2014 作。Rooksmere)

*JOEMY WILSON:Gift Ⅲ　Y
(副題"Christmas Music From Around The World"。J.Wilson{ﾊﾝﾏｰﾀﾞﾙｼﾏｰ}) with Silvia Woods{ﾊｰﾌﾟ},Anisa Angorola{ｷﾞﾀｰ}, Valerie King{ﾊﾌﾙｰﾄｰﾌﾟ},Miamon Miller{ｳﾞｧｲｵﾘﾝ}。1990 作。Dargason Music)

*VALERIU APAN･MIAMON MILLER:Star Song　Y

(副題"Christmas Carols With Panflute And Violin。with Silvia Woods{ﾊｰﾌﾟ},Janice Foy{ﾁｪﾛ},Stuart Brotman{ﾂｨﾝﾊﾞﾛﾝ}。1990 作。Dargason Music)

**(CD/HARP)**

*MASTER OF THE HARP Y
(Alan Stivell,Emilio Cao,Robin Williamson,Robin Huw Bowen, Triskell,Margie Butler,Rodrigo Romani,Elinor Bennett 他。2002 作。ARC Music)

**(CD/USA,Singer&Songwriter ほか)**

*LONNIE KNIGHT:Better Days(2005 作。Mosquito Shoals)D
*JOE HENRY:Fireman's Wedding(1994 作。Mammoth) A
*TOWNES VAN ANDT:The Nashville Sessions A
(1993 作。Tomato)
*A TRIBUTE TO BOB DYLAN VOLUME 2 A
(John Gorka,Richard Shindell,Ellis Paul,Richard Meyer 他。1994 作。Sister Ruby)
*ALAN GERBER:The Boogie Man(1999 作。Yumen Music) Y
*McGUINN,CLARK & HILLMAN:The Originals Y
(箱ケース仕様。ポストカードのおまけ付き。2000 作。EMI Plus)
*STEPHEN BRUTON:Nothing But The Truth Y
(1998 作。New West)
*BILLY JOE SHAVER:Electric Shaver(1998 作。New West)Y
*TOM OVANS:Tales From The Underground(1995 作。NSR) Y
*ROBERT EARL KEEN:Gravitational Forces Y
(Prodeced by Gurf Morlix,Robert Earl Keen,Ray Kennedy。2001 作。Lost Highway)
*SIR DOUGLAS QUINTET:The Returns Of Doug Saldana Y
(1971 作/2002 年。Acadia)
*ALVIN YOUNGBLOOD HART:Territory(1998 作。Hannibal) Y
*JOHN PRINE:Live On Tour(1997 作。Oh Boy) Y
*WESTERN ELETRIC:Western Electric Y
(Produced by Sid Griffin。2000 作。Gadfly)
*PROFESSOR LOUISE AND CROWMATRIX:Wings On Fire Y
(Levon Helm と Rick Danko に捧げられた曲３曲を含む全 13 曲。2012 作。Woodstock)
*KATY MOFFATT:Loose Diamond Y
(Produced by Dave Alvin。1999 作。Hightone)
*MARGO HENNEBACK:Michaelean(1996 作。Prime CD) X
*HUGH BLUMENFELD:Rocket Science(1998 作。Prime CD) X
*ONE FELL SWOOP:Look Out(1998 作。Brambus) X
*THE SILOS:Heater(1998 作。Normal) X
*DANNY SANTOS:This Old World(2013 作。Brambus) X
*VARNALINE:Sweet Life(1998 作。Zero Hour) X
*EVIE SANDS:Women Prison X
(with Chip Taylor。1998 作。Train Wreck)

**(サンプル CD/USA)**

*OLD SALT UNION:Old Salt Union X

(バーコードがマジックで消された新品のサンプル盤。Produced by Alison Brown。2017 作。Compass)

*GRACE DARLING:Imaginary Lover X

(バーコードに７～８ミリの穴の開いた新品のサンプル盤。Produced by Allen Toussaint。1997 作。Nyno)

*SUSAN PIPER:New On The Planet X

(バーコードに７～８ミリの穴の開いた新品のサンプル盤。ゲスト:Lucy Kaplansky,Richard Shindell,Catie Curtis。1997 作。Sliced Bread)

**(CD/USA{Trad 系})**

*THE HARRY SMITH CONNECTION A

("A Live Tribute To The Anthology Of American Folk Music"。Roger McGuinn,Geoff Muldaur,John Sebastian,Dave Van Ronk 他。1997 年のライヴ。全 19 曲。Smithsonian Folkways)

*GAIL WILLIAMS:Women Of A Certain Age Y

("Songs From The American Tradition"。推薦文:Martin Carthy。2004 作。Rossendale)

*MAGICAL STRINGS:Where Dragons Dances X

(2003 作。Magic Hill)

**(サンプル CD/USA,CANADA{Trad,Celtic 系})**

*WILLIAM COULTER & FRIENDS:Celtic Sessions Y

("Airs And Dances Of Irelanf And Scotland"。with Martin Hayes.Seamus Egan,Alasdair Fraser,Chris Coswell 他。1997 作。Gourd)

*KENNY JACKSON AND FRIENDS:Over The Mountains X

(トレイに Promo と書かれたほぼ新品のサンプル盤。2004 作。5-String Productions)

**(CD/CANADA)**

*CANDHARVAS:Sold For A Smile(1997 作。Watch) X

*LORRAINE SEGATO:Luminous City X

(1997 作。Get Off My Dress)

**(サンプル CD/CANADA)**

*T.NILE:At My Table X

(バーコードに２ミリの穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。2006 作。T.Nile Music)

**(CD/CANADA{Celtic 系})**

*NORAH RENDELL & BRIAN MILLER
:Wait There Pretty One Z

(カナダの女性トラッド･シンガーで The Outside Track のシンガーの Norah とギター奏者の Brian のデュオ･アルバム。推薦の言葉:Daithi Sproule。Two Tap Music)

**(サンプル CD/CANADA{Celtic 系})**

*NARAH RENDELL:Spinning Yarns X

(カナダの女性トラッド･シンガーで The Outside Track のシンガ

ーの 2015 年のソロ。ジャケット裏面に発売日等の情報掲載のシ
ールが貼られている。Two Tap Music)

**(CD/UK)**

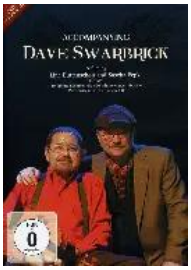
*HENRY McCULLOUGH BAND:FBI Live D
(2007 作。Mundell Music)
*CEDARS:Little Copper Still(2009 作。Clubhouse) Z
*SUZANNE CHAWNER:On Primrose Hill X
(1994 作。Round Tower)
*JOHN MARTIN:No Little Boy(1993 作。Permanent) X

**(サンプル CD/UK)**

*JULIAN DAWSON:Move Over Darling X
(バーコードに７～８ミリの穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。
w.Dan Penn,Richard Thompson,Roches 他。1997 作。Compass)

**(DVD＋CD/DAVE SWARBRICK & FRIEND) 在庫一掃！**

※NTSC all regions 国内製 DVD ﾌﾟﾚｰﾔｰで再生可能



(Dave Swarbrick)

*ACCOMPANYING DAVE SWARBRICK Y
(DVD＋CD セット。DVD は 2008 年、Dave Swarbrick & Lars
Kjaedegaard{ｷﾞﾀｰ、ﾌﾞｽﾞｰｷ}の 12ﾄﾗｯｸ収録ライヴと Dave
Swarbrick ドキュメンタリー。Swarb & Martin Carthy,Fairport,
Whippersnapper そしてデンマークのライヴ等の映像の合間に
Swarb の音楽人生を振り返る内容。CD は DVD 収録のライヴからの
７トラック。2011 年。Gonzo)

**(CD/DAVE SWARBRICK & FRIEND) 在庫一掃！**

*PETE HAWKES WITH DAVE SWARBRICK
:Secrets,Vows & Lies(1996 作。Larrikin) Y
*ALISTAIR HULETT & DAVE SWARBRICK:Saturday Johnny
& Jimmy The Rat(1996 作。Red Ratter) Y
*ALISTAIR HULETT & DAVE SWARBRICK
:The Gold Grey Light Of Dawn(1998 作。Musikfolk) Y
*ALISTAIR HULETT:Dance Of The Under Class X
(1992 作。Red Ratter)
*ALISTAIR HULETT:In The Back Street Of Paradise X
(1994 作。Red Ratter)

**(CD/ENGLAND)**

*MRS ACKROYD BAND:Tubular Dogs D
(June Tabor{無伴奏シンギングー曲を含む二曲でヴォーカル},
Bill Caddick,David K.,Eileen McGann,Alison Younger,Hilary

Spencer 他。1999 作。Mrs Ackroyd)
*BELSHAZZARS FEAST:The Flood Of Love A
(二枚組ＣＤ。2008 作。WildGoose)
*GORDON TYRRALL:So I've Heard(2000 作。Gaho Music) A
*FAUSTUS:Faustus Z
(メムバーは Benji Kirkpatrick,Saul Rose,Paul Smith。2008 作。
Navigator)
*USHNA:Twice Brewed Y
("Music And Song From The Heart Of Northumbria"。1998 作。
Fellside)
*EMILY SLADE:Fretless(2003 作。Rustic Thorn) Y
*UISCEDWR:Fish Cat Door Y
(ゲスト:Karen Tweed。2009 作。Yukka )
*MICK GROVES:Fellow Journeyman(2004 作。EXEG1) Y
("The Songs Of Ewan MacColl"。)
*ABBIE LATHE:Avebury Y
(with John Spiers,Martin Brunsden,Tony Poole 他。2003 作。
Park)
*VICKI SWAN & JONNY DYER:Stones On The Ground Y
(2011 作。WildGoose)
*CYRIL TAWNEY:Man Of Honour(2013 作。Talking Elephant) Y
*ANDREW CRONSHAW:Ochre(2008 作。Cloud Valley) Y
*LUKE DANIELS:Tarantella X
(with Ian Carr,Simon Mayor,Chris Newman 他。1994 作。Acoustics)

**(CD/SCOTLAND)**
*JOY DUNLOP:Faileasan(2013 作。Sradag Music) A
*THE COMPLETE SONGS OF ROBERT BURNS Volume 7 A
(Kaline Polwart,Bobby Eaglesham,Gillian McDonald,Alistair
Hulett,John Morran,Aimee Leonard,他。全 20 曲。1999 作。Linn)
*THE ROUGH GUIDE TO SCOTTISH MUSIC Y
(Battlefield Band,Capercaillie,Boys Of The Lough,Christine
Primrose,Emily Smith,Heather Haywood,Alison McMorland &
John McIntyre 他。全 18 曲。2003 作。World Music Network)
*BONNIE RIDEOUT:Soft May Morn Y
("Music From The North Highlands & Western Isles Of
Scotland"。1991 作。Maggie's Music)

**(CD/IRELAND,Singer&Songwriter ほか)**
*BRENDAN QUINN:Small Townn Z
(Produced by Arty McGlynn。with Henry McCllough,Arty
McGlynn,Liam Bradley,Rod McVay,Nicky Scott 他。2001 作。
BUN 001)
*CHRISTIE HENNESSEY:The Rehearsal Z
(with Mary Black,Dolores Keane,Arty MCGlynn,Nollaig Casey,
Frankie Gavin 他。1991 作。Son)
*THE BEST OF SEAN TYRRELL "Man For Galway" Y
(2004 作。ARC Music)
*DAN DONNELLY:Country & Northern(2010 作。IRL) X
*DAMIEN DEMPSEY:The Rocky Road X

(Produced by John Reynolds。2008 作。Clear)
*DAMIEN DEMPSEY:Almighty Love X
(Produced by John Reynolds。with Sinead O'Connor,Eamon de Barra,Justin Adams,Sean Regan 他。2012 作。Clear)
*SHANA MORRISON:Caledonia(1999 作。Monster Music) X
*CHRISTIE HENNESSEY:A Year In The Life X
(with Kenny Craddock,Arty McGlynn,B.J.Cole,The Voice Squad 他。1993 作。Warner Music)

**(CD-ROM/IRELAND)**
*THE LIFE AND MUSIC OF TURLOUGH O'CAROLAN A
(1997 作。To The Point)

**(CD/IRELAND)**
*DERVISH:The Boys Of Sligo D
(デビュー・アルバム。Sound)
*ANDY IRVINE:Way Out Yonder(2000 作。AK2) D
*EIGSE DHIARMUIDIN A
("Traditional Musitians And Singers Recorded Live In Concert"。Maighread,Triona & Micheal O Domhnaill,Seamus O Reaglaoich & Jim Murray,Kevin & Paddy Glackin,Mary McNamara,Peadar O Riada,Treasa Ni Mhiollain 他。2001 作。Clo Iar Chonnachta)
*PADDY KEENAN:Poirt An Phiobaire A
(with Arty McGlynn。1983 作。Gael Linn)
*IRELAND'S BEST TIN WHISTLE TUNES VOLUME 1 A
(ＣＤ２枚組。全 62 曲。Compiled by Clare McKenna。演奏は Harry Long{ﾃｨﾝ･ﾎｲｯｽﾙ} & Gavin Ralston{ｷﾞﾀｰ}。1999 作。Waltons)
*TRI-TONES:Tri-Tones A
(Stephen Rooney,Tara Breen,Conor Moriarty のトリオ。2014 作。TTT 001)
*MICHEAL O SUILLEABHAIN:Cry Of The Mountain Z
(with Paddy Keenan,Mary Bergin,Seamus Tansey,Paddy Glackin。1981 年/2012 作。Gael Linn)
*CHIEFTAINS:Live In Dublin(2005 作。RCA) Z
*BAIDIN FHEIDHLIMI Z
("Selected Gael Linn Singles 198-80"。Clannad,Maighread,Triona & Micheal O Domhnaill,Johnstones 他。2013 作。Gael Linn)
*CARMINA:Weather In The Heart Z
(with Donal Lunny,Loise Kelly,John McSherry 他。1998 作。Rhiannon)
*CHRISTY MOORE:Voyage(在庫一掃！1989 作。WEA) Y
*CHRISTY MOORE:Lily(在庫一掃！2016 作。Sony) Y
*PADDY O'BRIEN,NATHAN GOURLEY & DAITHI SPROULE :Bright And Early(2014 作。New Folk) Y
*SEAN KEANE:All Heart No Roses Y
(with Dolores Keane,John Faulkner,Arty McGlynn,Nollaig Casey,Alec Finn,Dermot Byrne 他。1993 作。CBM)

*CHRISTY O'LEARY:The Northern Bridge Y
("Songs & Music From Ireland And Scandinavia"。with Maire Ni Chathasaigh,Chris Newman,Tim O'Leary。1997 作。Old Bridge)
*GERALDINE COTTER:Piano＋ Y
("Irish Music On The Piano & Tin Whistle"。w.Steve Cooney, Eamon Cotter,Maeve Donnelly 他。2002 作。Geraldine Cotter)
*DANNY O'DONNELL:On tSean - Am Anall Y
(Altan の Mairead が推薦文{ゲール語}。RTE)
*KEVIN BURKE:If The Cap Fits(CD-R。1978 作。Mulligan)Y
*GARRY WALSH:Uncovered X
(アイリッシュ・フルート。w.Colm Murphy 他。2004 作。Ossian)
*FINBER & EDDIE FUREY:The Dawning Of The Day X
(1998 作。Castle Select)
*NA FIREIN:No Firein(1986 作。Gael-Linn) X
*WILL MILLER:Celtic Seasons Of Enchantment X
(ゲスト:Derek Bell。1998 作。Chacra)
*DAVEY ARTHUR & CO.:Out To The Chase X
(1998 作。Blue Bowl)
*JOHN O CONNELL:The Maid Of Ballingarry X
("And Other Songs From The Muscrai Tradition"。ED 001)

**(CD/NORWAY,RUSSIA)**
*MARI BOINE:Eight Seasons(2001 作。Universal) Z
*MARI BOINE･INNA ZHELANNAYA･SERGEY STAROSTIN :Winter In Moscow(2001 作。Jaro) X

**(CD/SWEDEN)**
*FILARFOLKET:1980 - 1990(全 19 曲。1990 作。Amalthea) D
*ALE MOLLERS:Lyckliga Enmansorkester D
(1989 作。Ding-Dong)
*ALLA FAGRA:Vi Ar Alla Fagra!(2011 作。PWM6) Z

**(CD/SWEDEN,IRELAND)**
*THIS IS HOW WE FLY:This Is How We Fly X
(2014 作。PWM14)

**(CD/NORWAY)**
*HULDREGAVA:Ut Pa Vegom(1996 作。Helio) X

**(CD/FINLAND)**
*IMA-C:Ima-c(2000 作。JUMI 002) X

**(CD/DENMARK)**
*FROMSEIER ROSE:Contradiction X
(ゲスト:Niamh Parsons。2003 作。Nunora)

**(CD/NETHERLANDS)**
*MAZZELTOV･ROLINHA KROSS:Amsterdam(2008 作。Frea) X

**(CD/BELGIUM)**

*TRIO DHOORE:Modus Operandi Z
（トリオ･ドゥーレはハートウィン、コーエン、ウォードのドゥーレ兄弟によって結成されたベルギー･フラマン民族音楽トリオ。兄弟の直感的な音楽性はまさに魔法のようで、美しいサウンドスケープを生み出し、伝統的なフランドル音楽に新たな息吹を吹き込んでいます{TradLor より}。2013 作。Appel

**（CD/FRANCE,BRETAGNE）**
*SOIG SIBERIL:Botcanou(2009 作。Coop Breih) A
*GENTIANE:Musique D'Auvergne Y
（南仏のトラッド。1979 年/1996 作。MY）
*GARGOUILLES:Sur Ie Bord Du Cote X
（2000 作。Coop Breih）

**（CD/GALICIA）**
*OS CEMPES:Moe A Moa(200 作。DiscMedi) X

**（CD/Italy）**
*VINCENZO ZITELLO TRIO:Concerto X
（ケルティック･ハープ奏者 V.Zitello のトリオによるライヴ。2001 作。Donya）

**（CD/HUNGARY）**
*META:Betoltse Szivedet...(2001 作。FolkEuropa) A
*GAZSA:From Budapest To Kommando(2003 作。FolkEuropa)Y
*AGOSTONES:Ordogbomba(2005 作。Etnofon) X

**（CD/GAMBIA）**
*PA BOBO JOBARTEH & KAIRA TRIO:Kaira Naata X
（1997 作。Real World）

**（CD/MADAGASCAR）**
*ERICK MANANA:Vakoka(1997 作。Editions Celia) X

**（CD/BRASIL）**
*MARIA BETHANIA:Encanteria(2007 作。DiscMedi) Z

**（DVD/アイリッシュ･セット･ダンス･レッスン）**
※国内製 DVD ﾌﾟﾚｰﾔｰで再生可能
*MATT CUNNINGHAM'S IRISH SET DANCING MADE EASY
Vol.1 Z
（"The Claddagh Set","The Sliabh Luachra Set","The Clare Orange And Green"。Pat Murphy,Betty McCoy,Padraig&Roisin McEneaney 他名だたるﾀﾞﾝｽ教師が指導。約 80 分。2005 作。Ainm）
*MATT CUNNINGHAM'S IRISH SET DANCING MADE EASY
Vol.2 Z
（"The Ballycroy Set","The Caledonian Set","The Fermanagh Quandrilles","The Aran Set"。Pat Murphy,Betty McCoy, Padraig & Roisin McEneaney 他名だたるﾀﾞﾝｽ教師が指導。約 80 分。2005 作）

（あとがき）



霜が降った早朝。鹿の家族５頭

*今年の秋はやって来るのが遅かったですね。来たと思ったら葉っぱの紅葉が急速に進んで、今は早くも落ち葉の季節。例年と同じように連日鹿の家族がドングリを食べにやって来ています。やって来るのが熊ではなくて鹿で良かった･･･。

*昔『パオ』の取材でリチャード･トンプソン･バンドのメムバーで来日したジョン･カークパトリックにインタービューをしたときの話を彼に話したら、「日本にイギリスのフォーク･ミュージック･ファンの人達がいるなんて本当に驚きました！一番の思い出は私たち全員がひどい時差ボケで胃腸炎にかかってしまい、体調を崩してしまったことです。残念ながら、あまり良い思い出ではありませんがね」と。そういえばリチャード･トンプソン･バンドのコンサートではリチャード･トンプソンは何度か演奏を中断してトイレに駆け込んでいましたっけ。

*クリス･ブレインがツアーの途中でキャンセルして帰国したのも時差ボケが原因だったそうです。時差ボケで寝不足そしてのど痛を起こしたとか。ピーター･バラカンさんに彼が出演した番組で彼の体調について尋ねてみました。「何も問題はありませんでしたよ」との返事。クリス･ブレインのことを「相当繊細な人」ともおっしゃっていました。せっかくの機会だったのに、チケットを予約されていたファンの皆さん残念でしたね。クリスはクリスでやむなくャンセルせざるを得なくなってさぞかしつらかったことでしょう。

*久し振りに通販リストを作り始めたら、気持ちが段々のってきました。音楽は認知症予防に良いとか。お陰様で夫婦共々今のところ認知症とは無縁かなと思っています。

*娘主宰のアイリッシュハープ教室の最高齢の生徒さんは長い間 80 歳代の女性でしたが、数ヶ月前に 90 歳代の女性が生徒さんになられました。認知症予防で始められたのかな？いくつになっても何かを学ぼうとする意欲見習いたいものです。

*久し振りの通販リスト、新譜の数は少ないですが、ご注文をお待ちしています。堀田はりいの新刊『新・卑弥呼物語』も何卒

宜しくお願いします。(船津)
《追記》
*紙版郵送後の 11/23 にクリス･ブレインからメールが届きました。一部を紹介します。
「日本は本当に楽しかった！本当に美しい場所だった。2027 年にまた日本に来てプレーしたり、もしくは日本を見て回ったりしたい。その時は必ず時間を取って時差ボケを治して、体調を整えたい」
日本はもうこりごりかと思っていましたが、メールを見てほっとしました。(船津)

☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆

堀田はりいの名で 4 冊目の本を 2026 年 1 月 7 日に出版します。過去３冊を出版してくれた右文書院さんはこの二年余り新刊の刊行ががなく、この度やむなく自費出版(つむぎ書房)することにしました。今回は歴史小説です。

**《予約を承ります》発刊され次第お送りします。**
◎堀田はりいの新刊『新・卑弥呼物語－卑弥呼と壹與の女王国』◎
～伊都国王統の卑弥呼女王の生涯と伊都国から大和国への遷都の物語～
（本体１３５０円【税込み１４８５円】（送料無料）
表紙の卑弥呼は愛子様がモデル。




倭国大乱はなぜ起きたのか。
魏の皇帝はなぜ卑弥呼に膨大な量の下賜品を贈ったのか。
三角縁神獣鏡はどのようにして生まれたのか。
魏の使者張政はなぜ女王国に 20 年もいたのか。そしてどんな役割を果たしたのか。
女王国と敵対した狗奴国とはどのような国だったのか。
卑弥呼の墓はどこなのか。
伊都国から大和国への遷都はどのようにして成し遂げられたのか。
卑弥呼はどのような遺言を遺したのか。

邪馬台国とは。
今、リアルな物語で解き明かされる。

◎一冊ご注文の場合、税込み１４８５円（送料無料）。
◎四冊以上ご注文の場合、２５％引き（送料無料）。
プレゼント用に、販売用にご購入頂けると嬉しいです。ご購入及び SMS 等での情報発信のご協力をお願いします。

**《堀田はりいの本》ご注文承ります。**（送料無料）
※『東遊伝―鷹王と八百万の神々』（2012 年。梓書院）税込み特価 1800 円
※『神宿る沖ノ島―古代日本人が見えてくる』
（2018 年。右文書院） 残部僅か 税込み特価 1800 円
※『古代天皇誕生記―こうして天皇の国は生まれた』
（2019 年。右文書院） 税込み特価 1800 円
※『卑弥呼の時代―絵画で旅する倭人伝』
（2021 年。右文書院） 税込み特価 2200 円



Hello!

**ご注文は song@tambourine-japan.com 又は tambour@ya2.so-net.ne.jp(CC 用) へ。**